



1972. 9. 6

第414回例会

1972-1973 第10号



R.K

ハバロフスク、アムール川を望む

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「国際理解週間に因んで」

カールレーモン氏

第413回例会記録

- ◎司会 市川芳夫会長
- ◎ゲスト 高杉 安司氏
- ◎ビジター 余 市R.C. 館山 喜夫君 小樽南R.C. 小松 清君
函 館R.C. 竹田 留次君 他8名 函館五R.C. 小川 享君 他1名
- ◎会長報告

本日のゲストの方は、高杉会員の弟さんで高杉安司さんです。後ほど市民の船に参加して、のスライドをお願い致しております。

(ロ) このあとに規定されているところを除き、クラブ年度前半の6カ月又は後半の6カ月間における出席率が60%に達しないで会員、シニアアクティブ、パスト・サービス、会員の会員身分は正当かつ充分な理由によって理事会が許さない限り自動的に終結する。

(ハ) 一つ又はいくつかのロータリークラブで、通算20年以上会員であって65才に達したシニアアクティブ、パスト・サービス、会員は出席規定の適用を免除されたい希望を表面を以て幹事に通告する事が出来る。もし理事会によって承認されれば、その会員の出席又は欠席は本クラブの出席記録に算入されないものとする。

★国税庁に申入れられよ 岩槻 岡田 喜一郎

先般東京ステーションホテルにおける会長、地区役員との会合で今年度よりロータリークラブは国税庁から社交団体の名を冠せられ、会に関する諸費用が経費として認められなかった、との発言があり、青山ガバナーもこれを認め、これに対するガバナーの所信を承り、来るものが来たという感じを受けたが、承認致し兼ねる一点は社交団体のホテルである。

親睦がロータリー活動の一本の柱でもあり、社交に重点の一つがあつて、一見通俗の社交団体の如くに見えるけれど、とんでも無い事でしょう。例会で我々には奉仕、奉仕そして超我の奉仕を要求され通している訳でしょう。社会の幸せの為に、平和と発展の為に、結集している筈のロータリークラブ、この社交団体の異名だけは断固訂正されねばならない重大失点と考えられる。

私は特別代表として新設クラブ員に対し、このロータリークラブの社会的存在意義の一つの説明としてロータリーの会費が特別な費用として国から尊敬を受けている旨、説明して来たばかりだっただけに大きなショックを与えられました。自分が出して自分が食う費用だから必要では無い筈だ、というガバナーの言、もつともである。費用の点はそれで良いが問題は団体名、これに奉仕的社交団体と三字をどうしても付け加えて貰わねば、私はロータリー精神の骨が抜ける事を心配する。相手にするな、名を捨て、実を取れと申す御人も多からうか? (産婦人科医)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 8. 23	53名	27名	26名		
47. 8. 16	53名	33名	20名	19名	98.11%
在函クラブ	(8/10) 函館R.C. 91.13%	(8/15) 函館東R.C. 98.88%	(8/11) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 9月6日

プログラム「カールレーモン氏のお話・題未定」

◎幹事報告

9月5日午後6時半より、湯の川の一ノ松旅館にて第一回目の炉辺会合を開催致し、出席義務者は平山会員、石原会員、西巻会員、北條会員、椎谷会員、山崎(幸)会員、山崎(尚)会員、広瀬会員、熊谷会員です。

その他、多数の方の出席を希望します。

◎親睦活動委員会

★ニコニコボックス報告

- 1、西巻会員 出産祝として
- 2、大井会員 タカラ・ゴルフ大会にて優勝
例年よりもゴルフ優勝者のボックス投入が少ない様です。
ゴルフアワーの方は頑張って下さい。

◎プログラム

スライド「市民の船に参加して、高杉 安司氏

成田会員、野村会員の2回にわたるユーモアたっぷりの卓話にひきつづき、本日は高杉安司氏の丁寧な内容説明の付加されたスライド講演によって、我々は一部分であるかもしれないが、鉄のカーテンから竹のカーテンになりつつあるソ連の現状をかいま見る事が出来た。宇宙科学の分野における輝かしきソ連、脅威的な軍事事力を備えているソ連とは、対称的な国民の質素な生活環境が印象的でありました。

後日、高杉氏のお話では「ソ連へは2度は行きたいと思いませんね。1度行けば沢山ですよ。現在のソ連は日本の昭和の初期ですね、とにかくひどいですよ」との事でした。

◎国際ロータリー第351地区協議会終る

新しいロータリー年度を迎えるに当たり、ホスト苫小牧R.C.の細心かつ周到な準備によって、1972-73年度役員のための地区協議会は、去る6月24、25日の両日、富田直前地区ガバナーの司会のもと、地区内48クラブ、100%の参加を得たうえ、それに6月20日に国際ロータリーに加盟を承認された亀田R.C.が含まれて開催されましたことは喜ばしい限りでありました。本年は、かつてないほど質実な教育場たるにふさわしい2日間の日程が組まれ、十分な質疑を用意して臨んだ参別者の覇気が会場にみなぎっておりました。

第1日は各クラブの新会長、幹事のほか関係役員、パストガバナー、新分区代理など約150名の参集を得て定刻11時45分開会。1カ月間に亘りレークブラシッドの国際協議会、ヒューストンでの規定審議会、国際大会に出席し、真直ぐ苫小牧に入りました私の帰国のご挨拶に引続き、富田直前地区ガバナーの本協議会の目的と機構のご説明で午前の集いが終り、休憩ののち新会長、幹事に対してクラブ運営に関する各リーダーの方の構義、クラブ運営と細則は最小限の骨組であり、その規定内に於て最大限の融通性を発揮し得るもの

であることを民主的に運営された規定審議会を通して感じることを述べ、質疑応答に入りました。

さらに、地区の関心事項に入り、前年度地区資金の決算報告、本年度予算案の審議、それに対する討論が、本年1月のQ.I.理事会において改訂された地区資金の取扱い方法に基づいて活発に行なわれ、可決。NEW LOOKを実践した有意義な本会議でした。そして、会長部会では、年次大会予算案、北海道ロータリー奨学会地区委員会の規約改正がそれぞれ承認、その後指導力について、幹事部会ではその任務について討論。夜はホテル・トマコマイに一同集い、懇親の晩さん会がホストクラブの主催で開宴。

第2日目は9部門の出席者を含め約600名の参加するなかで、「共に奉仕する我等の年度」を講演、午後は約2時間に亘りそれぞれの分科会に於いて十分な教義と討論が重ねられ、2日間の協議の結果、クラブ新役員は豊かな収穫を裡に携えて帰られたものと自負しております。

このようにして卓越した指導力を発揮せられた富田直前地区ガバナーから私にと新しくバトン・タッチいたしました。(なお、次期地区協議会の開催地は札幌市、札幌R.C.のホストに決定したことを付記します)

「共に奉仕する我等の年度」を全ロータリアンに

ロイド・ヒックマン新RI会長のターゲット Let's take a new look も一度見直そうはこの一年間、全ロータリアンの金科玉条とすべき指針でありますので充分のご理解と、それぞれの深い自問自答から出発していただきたいと思うのです。「学ぶために入り、奉仕するために出る」あのレーク・ブラシッドの国際協議会とヒューストンの国際大会に於て拝聴した多数のリーダーの方がたの講演などで、学び得たすべてを私なりに斟酌して纏めました、別添の「共に奉仕する我等の年度」の一文それでありました。会長から自ら全会員に配布下さって、敷衍して、ロータリーを分かつことを浸透させて下さい。それに私は次のことをつけ加えたいと思います。

青年のために、ではなく、青年と共に

青年を育てる、のではなく、青年が自ら育つように

誰が正しい、のではなく、何が正しいか

物事を始めるのに、事の難易ではなく、必要かどうか 私は人類36億人の一人なのだ世界を動かそうと思えば、自ら始めることなのだ。私はNew look して、拡大境をもって、地区ガバナーとしての生活を一日一日このように自問自答して実践して参りまいと思ひます。

地区の組織と委員会をよく理解して下さい

地区の委員会組織を、地区諮問委員会・地区奉仕活動委員会・地区運営委員会の3つの

部門に区分し、諮問、運営の両委員会は努めて質素に検約し、奉仕活動部門に縦横な活動ができるように資金運用を考えています。それぞれの委員会活動は拡大境でNew lookしたうえで、その任務、責任分野を明確にし、地区委員会と各クラブの連絡が密にとれるよう考慮しました。協議会で配布しました地区組織図表、地区委員会規約をご覧ください。各委員長、委員の方がたに気楽にご連絡し、それぞれの地域社会に合う具体的な奉仕の推進に努めて下さい。

●酒の害と益 中村 友輔

酒は、エチル・アミール・プロピール等のアルコールを主な成分とする。アルコールは麻酔薬で、大脳の抑制作用を麻痺させるので、タバコの個人衛生の範囲内における害と違って、精神病、暴力犯罪、交通事故等の社会問題をひき起こす。アル中になると、意志薄弱、精神病、注意力減退、視力減退、視野狭小等を起こし病気への抵抗力も弱体化させる。アルコールは肝臓で酸化されるが多量にすぎると、肝臓の負担を大きく肝硬変を引き起こせる。

血液中の濃度により、微くん、ほろ酔い、酩酊、泥酔、麻痺という段階があるが、先天的な個人差が作用する。これはアルコールを分解する酵素の多少に関係がある。

ほろ酔いは、平均して血液中の濃度が0.05程度を言い、酒2合、ビール1・2本、ウイスキーはウイスキーグラス2・3杯で、この程度の晩酌は安全といえる。またゆっくり飲むべきで、肴にはパン、チーズ、白味の魚、タコ、イカ、エビ、カニ等がよく、メシ、ウドン、バター、スズコ、カズノコ、豚肉、香辛料、ピーナツ等はよくない。消化し易い蛋白質は、アミノ酸にはりアルコールの燃焼を促進させ、体外排除を早くさせるものである。

日本酒はフーゼル油を追い出すためにも燗をしたほうがよい（合成酒はフーゼル油を少量しか含まない）。飲酒後は昔から柿をたべるといいというように、蜂蜜とか果糖を摂るのがいい。ウイスキーはストレートはさけて水で割って飲むべきである。

酒の益は、気持ちくくつろげ、人と人の隔りを取り除く作用をし、また少量なら心臓の働きを助成させる。オランダでは、ジン風邪薬としているほどだ。ただし宿酔いの迎酒は悪い。結核患者も少しなら飲んだほうがいいが、病院管理上禁止している。高血圧症で脳溢血の心配ある人は禁酒すべきである。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 8. 30	53名	39名	14名		
47. 8. 23	53名	25名	28名	23名	90.57%
在函クラブ	(8/17) 函館R.C. 93.50%	(8/22) 函館東R.C. 98.90%	(8/18) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第413回例会欠席者

飯田、岩塚、小村、外山、関本、小笠原、成沢、佐々木(椎)、山内(文)、山田、酒井、吉井、石原、平山(敬称略)

次回例会日 9月13日

プログラム「早川弁理士のお話・題未定」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市大手町5-10
日魯ビル3階
☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10
国際ホテル
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 9. 13

第415回例会

1972~1973 第11号



R.K

ハバロフスク、アムール川を望む

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「弁理士 早川政名氏のお話」

第414回例会記録

- 司会 市川芳夫会長
- ゲスト カールレーモン氏
- ビジター 長崎北R.C. 村上 明君 (ホテル)
東京江戸川R.C. 伊藤 三好君 (鉄鋼)
函館R.C. 須田 広三君 他5名
函館東R.C. 高野 武久君 他1名
函館(五)R.C. 羽野 栄一君 他2名
- 斉唱 君が我・奉仕の理想

●会長報告

昨夜、炉辺会合を開催致しましたが、若い方々と新入会員の方々が多数出席していただき非常に活発な意見が出され誠に有意義なものでありました。